

2017年 平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業に参加して

Nikita Piskunov (ボルゴグラード市、ロシア)

2017年平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業 (HIROSHIMA and PEACE) への参加は、私にとって今後平和構築活動に取り組む上で非常に良い経験となりました。まず初めに言いたいのは、「HIROSHIMA and PEACE」は核兵器の存在やその結果に関連した現代世界が直面する様々な問題についての多様な講義やディスカッションにあふれていたということです。これらの講義は、政治や文化といった生活に関わる多くの分野における平和構築の諸問題に特化したものでした。核兵器は現代世界の全ての文明的政府や政治権力により破壊されるべき絶対悪であるということを、私たちは常に忘れず認識しておくべきです。この夏期講座で行われた全ての講義はいくつかの方向性に分けられますが、中でも最も重要だったのは、原爆から生き残った被爆者に関する講義や、彼らが原爆投下の後どのように生き延びたかといった話、また核兵器の増加を防ぎ、その廃絶に貢献するための国際協力の方法に関する講義でした。被爆者の方々の話や、彼ら本人から聞いた原爆投下の後の広島と長崎の惨状についての説明は強く印象に残りました。これらの話は、日本を、そして全世界を再建し、他の国の人たちに人の命のあらゆる価値を理解してもらいたいという日本人の意志を感じさせるものでした。人の命は尊いものです。私は、広島平和記念資料館を訪れた後、私たちが皆同じ人類であるということを完璧に理解しました。そして、平和構築活動に積極的に携わりたいという意欲が飛躍的に高まったのです。

青少年「平和と交流」支援事業 (HIROSHIMA and PEACE) での取組を終えて、ロシアのボルゴグラード地域での私の平和構築活動の今後の道筋について、心が決まりました。第一に、ボルゴグラード州立大学の全学生に向けた国際討論クラブの活動を続けていきます。ボルゴグラード地域の全ての大学からより多くの学生や教職員を集めて、私たちの活動に参加してもらおうつもりです (今年の10~11月を予定)。次に、核兵器廃絶に関する問題や見通しについて実用的かつ科学的アプローチの会議を開催したいと考えています (今年の11~12月辺りを予定)。同時に、VKontakte や Facebook などの SNS に大規模コミュニティを作ることで、若い世代に核兵器の存在による破壊的結末について教え、そうした兵器への対抗手段について話し合う計画もあります。加えて、ボルゴグラード州立大学の外交研究センターと協力し、多くの学生や専門家を集めて会議や討論会を行う計画もしています。これらは同センターにより核軍縮と核兵器廃絶をテーマに開催される予定です (2017年12月~2018年2月を予定)。

2017年平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業 (HIROSHIMA and PEACE) への参加を終えて、平和首長会議の将来的な活動についていくつか提案があります。

1. 平和首長会議の新規加盟都市及びロシアの新規加盟都市を巻き込み、平和首長会議における協力を活性化すること。
2. 軍縮や平和の推進を目的とした会議をより多く開催し、それらにロシアの加盟都市の代表者を参加させること。
3. ボルゴグラードと広島の間で異文化交流・教育交流を積極的に行うこと。これにより平和構築活動をより効果的に行える多大な可能性が生まれます。
4. 核軍縮や核兵器廃絶問題の解決を目的とした若者の科学プロジェクトを支援すること。
5. 国連や欧州安全保障協力機構 (OSCE) などの全ての国際組織、また核保有国の指導者らに対しより多くの嘆願文書を送り、全ての核保有国から核兵器を無くす必要性について訴えること。